

令和3年度 夏季頭頸部特別解剖実習 開催報告

2021年8月21日(土)・22日(日)

共催：横浜市立大学神経解剖学教室・麻酔科学教室

本学篤志献体団体「有美会」会員ならびにご遺族の皆様の崇高な御意思と御協力により、2日間の日程で夏季頭頸部特別解剖実習を開催いたしました。本実習は、今年度で13年目となりました。これまで御協力いただいた皆様方のお力添えに心より感謝いたします。

本実習は、「脳神経外科手術手技」の卒後教育および「学術的知識の探求」を目的として行っています。若手脳神経外科医を中心として、脳神経外科手術を安全に行うための微小解剖や手術到達法の基本手技について、実際の手術室と同様の手術用顕微鏡や手術機器を用いて学び、実地臨床に基づいた理解を深めました。



本年度は外部講師として、大阪市立大学脳神経外科学主任教授 後藤剛夫先生にご指導頂きました。また、同門からは横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経外科部長 坂田勝巳准教授にご指導頂きました。若手のみならずベテランまで幅広く実りのある2日間となりました。

手術手技や解剖学的知識の学習だけでなく、医師としての初心に立ち返ることができた点においても有意義な実習であり、非常に貴重な機会になりました。御協力いただいた方々に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。